

ZION

シオン

No. 29 2009

談話室



展示室



研修室



ホール



事務室



旧会館から移設した
ステンドグラス

キャンパスの新しいオアシス 学園記念館（同窓会館）

2008年、学園創立60周年を機に開館。
学園の過去、現在、未来をつなぐスペースとして、多くの人達に利用されている。

「神様から頂いた“賜”を

生徒一人ひとりが生かして欲しい」

校長 小澤則男先生 日立市在住



レストラン「清海」でインタビュー

「誠実さ」漂う青年教師時代



今回先生の都合でご自宅への「ぶらり訪問」が出来なくなり、急きよ「ぶらりインタビュー」に変更した。場所はおおみか駅前通りを真っ直ぐ東、海岸通り突き当たりの崖の上のレストラン「清海」になった。近くに白い灯台があり、断崖の下は荒海に洗われている。遠くには水平線がぼんやりと見える。写真撮影の関係から夕陽が差し込む国道側に席を取った。

先生は昭和二十三年、日立市生まれ。昭和四十八年四月より本校で教鞭を取られる。

初年度、年生を担任。この年の学園祭（現シオン祭）の仮装大会では、生



うれし恥ずかし、学園祭で「芸者」に（昭和48年11月）

徒に頼み込まれてクラスの出し物「芸者」に扮装。大喝采と厳正な審査で優勝を勝ち取る。残念なことにこの年を最後に仮装大会が中止になる。本誌の「あの頃を語る」がトーンダウンした原因でもある。

それから三十六年が過ぎ、六十二歳を迎える今年校長になられた。先生はクリスチャンである。十九歳の時、二歳年上の先輩に連れて行かれた杉並区にある教会で洗礼を受ける。

先生が十六歳の時、三つ年上の先輩から、『普及版定本 八木重吉詩集』（弥生書房）を頂いた。以来八木重吉の大ファンである。重吉の命日（十月

二十六日）に行われる『茶の花忌』でお話をしたり、八木重吉シンポジウムでは、四年前の第三回以来、毎年パネラーとしてお話をしている。『八木重吉詩集』を見せて頂いたが、付箋され、中には書き込みが多い。生徒や父兄に紹介している。

空「空よ おまえのうつくしさをすこしくれないか」

雲「くものある日 くもは かなしい くものない日 そらは さびしい」などの詩を模造紙に墨で書いて教室に貼る。

PTAでは、「おかあさんの顔をみたくなった おかあさんの顔をとおりにぬけると 本当のことがわかるようにおもえてならない」この詩を使ってお話をする。

先生はいつも優しい顔で受け答えをされる。毎年必ず高校の「ホーム・カミング・デイ」に参加を頂いている。

先生とのお話から……「二〇〇九年

は、創立六十二周年目に入ります。今こそ創立時の理念と建学の精神に立ち帰って私学作りをする時です。私たち教職員一人ひとりも個人としての原点復帰をすべき時だと思えます」

さて、先生の若い頃は同人誌や季刊詩誌への投稿。最近では、気が向けば表にスケッチでかけ、美術館をまわって絵画鑑賞。音楽鑑賞はモーツァルト。フジ子ヘミングのCDをかけた放しで仕事や読書。年に二、三度懐メロ、石原裕次郎などを歌う。映画は時代劇と任侠物が好き。昭和五十二年頃の修学旅行、倉敷で雨に降られ、予定を「余興」に変更したことがあった。そのとき歌った勝新太郎の「座頭市」では生徒たちから大評判を得た。

案外の部分を発見。なぜか凸凹コンビ、ホッと安心を覚えた。

尚、今回はカメラマンを同窓会幹事の小野瀬さんにお願ひした。

(Y・S H・S)

あの頃を語る
昭和
53~56
 年
 1978~1981
29~32
 回生

高貴靖夫

根本康成

山下(松山)梨香

富山修



陸上部のルーツここにあり!

…………… 精鋭揃いのアスリートたち ……………

証言①=根本康成

(29回生/中・遠距離)

懐かしい写真ですね。私が3年の時、笠松運動公園で開催された県北大大会でのスナップです。この一年前に鈴木季美雄先生が顧問になってくださり、本格的にスタートしたと記憶しています。当時は、グラウンドが無いので、思うような練習ができず、体育の時間を返上し男子が総出で、一輪車やスコップを駆使して数ヶ月かけ完成させました。

証言②=山下梨香

(旧姓松山/30回生/中距離)

風神山は走り込みに最適なコースで、毎日のように往復していました。狩猟解禁の時期に、鉄砲を担いでおじさんと遭遇したりして実にスリリングでした。当時の私のポリシー(?)は、「練習は、遅刻はしても早退はしない」でした。

証言③=大和敏幸

(32回生/投てき)

投てきの練習は、図書館前の砂利道。

松林に向かって投げる練習でした。砂利で高価な靴がすぐに破れてしまい困りました。その後、鈴木先生の計らいで練習用のサークルを作って頂き、安心して専念できるようになりました。

中京大学卒業後、日本選手権で優勝した時に、初めて先生に誉めて頂き、嬉しかったのを覚えています。余談ですが、中学生の娘も砲丸投げで頑張っています(昨年のジュニア五輪全国1位)。

証言④=高貴靖夫

(30回生/中・遠距離)

根本先輩に誘われて入部しました。練習中にヤリやハンマーが頭上を通り過ぎて、ヒヤリとしたこともありましたが、拓植大4年に箱根駅伝で走った時、法政大陸上部主将の富山修一君(シオン同期生で、インターハイ・ヤリ投げ全国2位)がゴールで迎えてくれ、控室まで付き添ってくれたことは、忘れることのできない思い出です。

証言⑤=山下梨香

練習場所移動のために支給された交通

費は使わないで、ヒッチハイクで目的地まで行ったり、隣のゴルフ場からコココーラのロゴ入りベンチを拝借(?)して部室へ持ち込んだり……と、お茶目な私達でしたが、殆どの部員が関東大会出場を経験しました。

証言⑥=根本康成

昨年の全国高校駅伝大会では、私が顧問を務める日立工業高校陸上部と母校とのアベック出場が叶い、鈴木先生と喜び合いました。

特別証言=鈴木季美雄先生

30年程前、男子生徒を心身ともに遅くそだてよう、と10年間小澤則男先生に部長として精神指導を担当して頂き、私は監督として技術的な面を指導してきました。多くの生徒との出会いがありましたが、生徒自らの手で整備したグラウンドを基点に、各方面の大会で活躍し頑張った部員を思う時、胸が熱くなります。

(T.S)



吉澤 達巳 (28回生)
優美 (旧姓田中28回生)
 水戸市泉町「豆腐料理二丁」

夢は八丈島への出店

体重94kgの巨漢と、それに寄り添うようにスリムな女性。こんなウォーキングカップルを水戸の町で見かけたら、それが吉澤さんご夫妻である。

達巳さんは、父親の豆腐作りを継いだ二代目豆腐料理店の店主。今注目のスローフード、自家製の季節の無農薬野菜、持船「一丁丸」で釣り上げた魚貝類、得意の手打ち蕎麦を熟々の豆腐と一緒に提供している。お客も自分でゆばを引き上げてはワイワイと盛り上げる。

結婚16年目の吉澤家（夫婦と3匹のダックスフンド）の夢は、八丈島へ行って「一丁八丈島店」を開店することだそう。

28回生の同窓会を企画中！（詳細は7頁を） (R.B)

憧れのディスコが…

“夢のジュリアナ！”当時、日立にもディスコがあった。中学生だったので入れなかったが、後にその憧れがちょっと形を代えて“社交ダンス”の門を叩かせることになった。

手ほどきを受けた一番弟子の男性助手が、やがてコンクールのパートナーとなり、さらには人生のパートナーとなった。そのご主人とダンス教室を経営し、指導して30年近くなる。

「本当にダンスが好きだったのか、今でも分からないの」とつぶやく一方、「協会の規定では、70歳まで現役指導できるの」とほほ笑む。

年期の入ったスタジオは、古い木造ながら、床はピンと張りつめて鋼のように輝いていて、恵美子さんのステップを待っているようだった。

*経営＝日立ダンス教室、勝田ダンススクール、ダンススタジオセキネ(高萩)



関根 恵美子
 (旧姓藤原 18回生)
 日立市本宮町在住



高村 トミ子
 (旧姓山際 8回生)
 いわき市佐糠町在住

しあわせだなー！

義理の妹さんが障害者だったことから、授産所（障害者通所施設）の運営に關って30年になる。

毎日通って来る10人ほどの障害者それぞれの個性を見つけ、その能力を生かして社会参加できるように、一緒に努力していく。例えば、息抜きにご主人と楽しむ社交ダンスを、障害者にも勧めてみる。すると何も出来なかった彼らが、大勢の人の前で、堂々とダンスをする人になったりする。

3年前に県より社会福祉功労者賞を受けたが、多くの協力者と支援者の代表として頂いたもの、と謙遜する。

仕事から学ぶことは多い。障害者も、その家族も、トミ子さんも「みんなだしあわせ！」これがモットーである。

J2のサッカークラブ、水戸ホーリーホック。沼田さんは昨年四月このクラブの社長に就任した。昨年度の成績はJ2十八チーム中十一位、クラブの規模も一番小さい。前社長が突然辞任し、いろいろ課題のありそうな重責へのオフアールについては一週間悩んだ。「やっぱりサッカーが好き！」小学三年で少年団に入った時から持ち続けた情熱が、受諾を決断させた。交通事故のケガで中断もしたが、サッカーから離れることはなかった。もちろん高校でもサッカー部に所属。「ケガの前科を持つ僕でも続けられたのは、この高校のサッカー部だったから」。エッ、強かったのかって？そりゃ勝ちたかったんですけどね。当時はグラウンドもなく、日立電鉄に乗ってあちこちの高校に練習試合に出かけたという。「楽しかったなあ」。顧問だった熊谷先生からは、何より精神面のご指導を頂いた。社会人となってからも、水戸サッカー協会の役員や理事長を務め、サッカーと関わり続けてきた。

抱負は、「とにかく人間育成が第一です。試合は九十分だけ。その他の社会人としての時間が大切。彼らは着実に変わってきていますよ」ご自身の息も含め、子供達へのサッカー指導の経験と苦労が今役立っているという。クラブの社長の多くは、母体企業から天下ってくる。Jリーグの会議等で現場経験の豊富な沼田さんの発言は注目されるらしい。多くの取材も受けた。今年秋には水戸市立陸上競技場の改修が完了し、東海の笠松からホームグラウンドが移ってくる。「サッカーを通して水戸の街に元気を伝えたい。プレーする楽しみだけでなく、観客として、サポー



●いま輝いています●
サッカー一途
 水戸ホーリーホック社長
沼田邦郎さん(33回生)

バスケの思い出

子供時代はバレーボールに熱中し、高校ではバスケット部に入り、特進クラスで3年間バスケットを出来たことが良き思い出になった。その頃の仲間は、とても近い存在で、友達以上の付き合いが今でも続いているという。

現在、群馬大学医学部保健学科検査技術科に進学し、検査技師を目指して勉強中だ。

夕方からは古着屋のアルバイトに通う。ジーンズの買取りをしたり、販売をしたり、社会勉強を兼ねながら結構楽しんでいる。

実家に帰るのは年に1、2度程度。ちなみに、明君のお父さんは母校教師のヴォス・R先生。なるほど、どうりで“イケ面”なわけだ。
(J.N)



神谷明
(88回生)
群馬大学医学部保健学科在籍



中村裕也
(48回生)
水戸市堀町在住

音楽の事なら僕に聞いて!

小学、中学と野球少年。高校へ入学してサッカー部へ(当時、Jリーグ、スーパーファミコン、サッカーが大人気)。ファミコンのように行かなかったが、フォワードとして日立大会などの主要大会でゴールをビシビシ決めた思い出があるという。

その頃から音楽も大好きで、紆余曲折をへて、タワーレコードへ入社。洋楽全般を担当している。(未だ独身、両親と同居中)

レコード、CD類のコレクションは約1万枚。どんどん増えてしまい、部屋の床が抜けてしまうのでは、と心配も絶えない。

辛い時、悲しい時、楽しい時、音を楽しみましょう。それが音楽です。

やって良かったサッカー

子供の頃から始めたサッカーが大好き。高校では入学と同時に当然のようにサッカー部へ。3年間勉強に、サッカーにと学園生活を満喫し、無事卒業。

その後も日立サッカー市民リーグで“少しだけ”活躍。昨年は、熊谷先生の送別サッカーにも参加した。

「久しぶりのプレーでしたが、まだまだいけてるな」と、自画自賛(笑)。

現在は、奥様と3人の娘さんとの5人暮らし。(株)吉田石油に勤務し、水戸市内の給油所でスタンドマンとして多忙な日々を送っている。「安全と安心」を提供することが第一の仕事だ。

「あの頃の辛さがあるから今があると思います。頑張ります」と、頼もしそうだ。



有賀公則
(88回生)
水戸市見川町在住

親子DEシオン

橋本紀子さん(27回生)

智行さん(高校3年生)

ひたちなか市津田在住



紀子さんは27回生。ご主人と長男智行さんの3人家族。紀子さんの仕事はリリー保育福祉専門学校の講師やリリーヴィクトリアナーサリーの保育士。

智行さんは中高一貫教育(男女共学)の初めての6年生(高校3年生)だ。好きな科目は物理。部活動も物理部。「人生の総時間の3分の1は仕事です。やるなら好きなものを仕事にしたい」ときっぱり答える。将来は科学者の道を歩みたいとのこと。目標もしっか

り決めているようだ。「物静かで自分の考えを持っている子です」と紀子さんの評。

紀子さんはレザークラフトに夢中になったり、PTA活動に参加する。そして仕事にも、すべて前向きなキャリアウーマン。「母はいつも明るくて、楽天的。料理が上手。少しおせっかいなところもあります。時と場合によるけれど感謝してます」と智行さん評。仲良し親子であることは間違いない。(Y.S)

水戸ホーリーホック
サポーターズ会報



ターとして心踊る楽しみがサッカーにはある。語り口に熱が入る。クラブ事務所では忙しい仕事の合間に選手たちに気軽に声をかける。よき兄貴的存在のようだ。本業は靴の卸売会社「ヌマタ商事」常務。高校卒業後に知り合ったという奥様の由輝子さんはキリスト高の同級生。仕事面でも心強いサポーターだ。眼鏡の奥で「今年はやりますよ!」力強い瞳がキラリと輝いた。(M・A)

学園記念館(同窓会館)復元

「募金」ご協力ありがとうございました

平成21年3月までの募金総額は9,774,490円です
(尚、4月以降の分は一般募金に入れさせていただきます)

是非、学園記念館見学にお出で下さい。また、クラス会、学年会にお使い下さい。美味しいコーヒーと共に事務局員がお待ちしております。二階には学

園の歴史が写真と共に分かりやすく展示してあります。個人でお出でいただくのも歓迎いたします。
電話0294-52-3215 記念館事務局



…天に召されて…

チャールズ・W・ドイル先生 (第6代高校校長)



今年の1月21日に、ドイル先生がアメリカのオレゴンの地で84歳で亡くなられた。長い間アルツハイマーの病と闘っておられた。

告別式は、日本滞在中の友人であるエルマー・ブラウトさん(1960年~64年高校教師)の司式で執り行われた。

ドイル先生は1948年、開拓道のため夫人と共に来日した。学園が高校を開校(旧シオン学園高等部)して以来、英語教師として、また経営陣のメンバーとして、継続して15年間日本に滞在した。1960年に第6代校長となり、前後して理事長、総長も兼任されたが、後半アメリカの経営から日本の経営への移行に伴って大変な時期を過ごし、1963年、夫人のノーマさんと日本で生れた二人のお子さんを連れてアメリカへ帰国された。その後はアメリカで心理学を修得され、刑務所でカウンセラーとして働かれた。また1990年に日本からの招きによって来日し、学園大学や各地の教会で日本語で講演し、皆と親しく思い出を語られた。

戦後、何も娯楽のなかった時代、夫人の勧めでギターをマスターし、生徒達と歌を楽しんだり、松の木の上でポーズをとって生徒と写真を撮ったり、そういうことが許される自由溢れる学園時代を過ごされた。キャンパスと地続きだったゴルフ場で、アメリカ人教師の家族たちが、美しい夕日を背にゴルフをしたり、遊んだりしていた微笑ましい情景を思い出す。今、学園の古き良きメモリーが、一つ消えた事は淋しいことである。リス・テイラーに良く似た婦人で素敵なかップルであった。(R・B)

一九六〇年代当初
矢祭山春の遠足



暖かい秋晴れの一日、同窓会長(ご存知S.A.Z.Aのコーヒーのアロマの漂う中で、高校時代の顔に戻った同窓会有志の面々、張切って開店。
人気のシオンまんじゅう(20回生)、手作りのマドレーヌ(16回生)、アフリカンクラフト(11回生)、今年新顔の水戸入船堂のせんべい(16回生)等々、すべて売り切れました!
純利益は七万七千五百五十円。同窓会活動費として使われます。皆さん、オリジナルな品物をシオン祭で売ってみませんか。今年もお待ちしています。

「シオン祭」にごぞつて参加!



かなやま・ひとしろう

昭和10年東京生まれ。昭和33年青山学院大学経済学部卒業。同年水戸証券入社。平成元年同副社長。平成9年青山学院理事。平成17年NPO法人21世紀大学経営協会専務理事。平成18年東京財団資産運用委員長。平成19年青山学院顧問(財務担当)。平成21年1月茨城キリスト教学園理事長就任

新理事長が就任されました
本学園新理事長に、金山仁志郎氏が一月一日付で就任した。私学振興策に取り組んだ広瀬正前理事長の実績と学園の理念を踏まえ、私学界の隆盛と学園の一層の発展に意欲を燃やされている。
「パッシオン(情熱)ミッシオン(使命感)ビジョン(展望)を大事に、職員と学生がベクトルを同じにして、研究の質を高めクリエータータイプに環境を変えていきたい」と、抱負を語られた。

「ZION」発行への寄付のお願い

12,000人以上の卒業生各位への「ZION」発行と送料で200万円以上が必要です。毎年資金が不足しております。一人2,000円以上のご協力をお願い致します。
(「ZION」紙に同封の振込用紙をご使用ください)

開催しました!!



■16回生第5回同窓会報告

平成20年6月28日(土)、「オーシャンビュー大洗」一泊で実施しました。

参加人員は38名、宿泊者は女性7名、男性10名でしたが、夜はまるで修学旅行の再現でした。

次回は、平成22年、やはり一泊予定で、県北方面を計画します。

開催しま〜す!!

■水戸支部・総会開催します

●6月7日(日)午前10時〜

●学生会館

★ホーム・カミング・ディ当日です。水戸支部会員集まれ〜!

■日立支部・第5回総会を開催します

●6月7日(日)午後2時30分〜

●学生会館2階

★ホーム・カミング・ディ終了後、同会場で行います。

■28回生の皆さんへ

《50歳記念大同窓会》開催企画中!

第1回同窓会ですので、是非とも成功させたいと思います。28回生幹事さん、有志の方で協力して下さい。皆様のご連絡お待ちしております。

吉澤達巳(豆腐料理一丁・店主)

連絡先=090-3332-7545

■コーラスOB会・夏の例会

●8月2日(日)午後3時〜

●高校音楽室

★ハレルヤ・賛美歌を歌いましょう!

編・集・雑・感

私は29年間、同窓会報誌を書いてきた。取材する方と受ける側について一言。

私は出来るだけ、愉しく、面白く、少しの笑いもほしい。清く正しくが原則だが、脱線した可笑しさ、少しだけの秘密は、なんとも言えない興味津々だ。取材する方も建前や肩書きの人でなく、そのものを知って欲しいからだ。読んでもらえる原稿を書きたい。捨てられる会報誌では困る。書かれる立場はスマートで印象の良いものを望む。書く方は、もっと深い人物像に迫る。書く方と書かれる方の葛藤が何時も起こる。それが私たちの腕の見せどころ、楽しい文章にしているつもりだ。学園もマンモス化した。情緒性が少しずつ後退している。同窓会報誌だけはスローライフでありたいと、最近強く感じるようになった。

(H.S)



目標は、ズバリ“全国大会”出場!

■硬式テニス部(女子)

ナイターのちょっと照明が暗いクレーコートを訪れた。

「お願いします!」と、体育会系らしい大きな掛け声が響き渡る。顧問が出したボールを、フォアハンド、バックハンドと振り回されても、力が入った“スピン”がかかったボールを深くコーナーに打ち返しているのを見て、期待が膨らんだ。キャプテンの小田野怒子さん(3年生・水戸市)がケガのため、副キャプテンの吉成千瑛さん(3年生・日立市)にインタビューをした。

「部員は10名、練習時間は午後4時から7時までです。目標は、関東テニス大会東北地区予選を制し、県大会制覇して、“全国大会出場”です。自信は?の質問に、「やります!」と潔かった。

顧問でコーチの中嶋隆幸先生の指導なら、きっと全国出場できると予感した。

最後に、「ありがとうございました」と大きな声で挨拶。チームがまとまっていると感じた。がんばれ! (K.O)

ありがとうございました! 4名の先生方が勇退されました。



新妻愛子先生
(地歴公民)
1974年以来
35年間



諸岡孝先生
(英語)
1991年以来
18年間



佐々木あかね先生
(司書、国語)
2003年以来
6年間



田中光穂先生
(情報)
2007年以来
2年間



ZIONホームページ アクセスの方法

“yahoo”などの検索ソフトから“ZION 同窓会”と入力して検索し、これをクリックするとアクセスできます。

校長
に聞く

小澤則男
先生

平成20年度
2年5組担任



【小感】

5組40人の諸君、これからの人生を…多逢聖因…

3月19日は春番の暖かさでした。2年生最後のLHR、我が5組のクラスの有志数人が外で遊びたいとの申し出がありました。しかし、この子たちは私の担任としての最後の生徒たちになります。かわいそうだったのですが、教室で「担任通信2号」を使って話をさせてもらいました。

「同席対面五百生」私たち教師にとって生徒との出会いは「一期一会」、誠に厳粛な出会いです。生徒たちに一度限りの人生を豊に有意義なものであってほしいと願い、まぶしいほどの青春を謳歌して欲しいと話をさせて頂きながら、同時に私の中で、「お前の人生はどうなんだ」という声を聞きます。

私たちの仕事は、年齢に関係なく世間の人から「先生」と呼ばれます。いつの間にかその流れに乗って錯覚をしてしまい、うっかり「先生」になってしまう時があります。十分に心すべきことです。

教師(先生)とは、言葉によらず、実践で物を言わねばならない仕事です。それだけに、日々謙虚に生徒や保護者の方の声を聞く耳を持たねばなりません。連如が「仏法は聴聞にきわまる」と言ったそうです。教育もそうでしょう。難しいことですが…。40人いれば、40通りの生徒の声と保護者の声。そんな事にも思いを馳せるのは、年齢だからではなく、これまでのお恥すかしに至らぬ積み重ねがしみじみ顔かせるのです。

さてここにいる40人のパワフルで愉快な生徒たちも一年後には、卒業をして同窓会のメンバーになっているのです。一人ひとりどのような人生送るのでしょうか。そして、同窓会の総会「ホームカミングデイ」に集える日が楽しみです。

求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。(マタイによる福音書 7章 7,8節)

お待ちしてま〜す!
平成21年度

ホーム・カミング・デイ

■日時:6月7日(日) AM11:00~PM2:00

■会場:学生会館(元短大学生ホール)

★今年は、3、13、23、33、43、53回生が、ヒーロー及びヒロインです。いいことあります。こそって出席くださ〜い。
★差し入れは、もちろん大歓迎です!

●第1部:平成21年度同窓会総会
(お知らせ事項がいろいろあります)

●第2部:「楽しい集い」と「ミュージック・ライブ」



青木FUKI (23回生)

シャンソン、タンゴ&ジャズ

洗足学園大学音楽科卒。二期会でオペラ研修後、ミュージカル、映画、芝居などに数多く出演。リサイタルやホテルでのディナーショー、ライブハウス、シャンソニエ等々で、ソロ・シンガーとして多彩な活動を展開中。

★先生方も出席されます。お楽しみに〜!

■同窓会事務局:0294-52-3215



フランス菓子 ルブラン

水戸市千波町370 TEL.029-241-1991
<http://www.leblanc.co.jp>

株式会社 中村オフィス

中村 潤治

Nakamura Junji

〒310-0062 茨城県水戸市大町3丁目3番32号
TEL 029-300-4747 FAX 029-300-4748
nakamuraoffice@yahoo.co.jp



富士企業(株)

代表取締役 佐藤芳子(23回卒)
310-0913 水戸市見川町2410
TEL 029-243-1777 FAX 029-243-1793



株式会社 井上工務店

井上 美智子(27回卒)
井上 朋子(51回卒)
井上 聡子(55回卒)

茨城県ひたちなか市和田町1-10-13
Tel:029-263-0211 Fax:263-0215
<http://www.inoue-koumuten.jp>



シュークリーム・和洋菓子

タカラブネ

メガドンキホーテ店 029-255-0156
ポリポリシティ笠間店 029-670-1825
(18回卒)

BANBI

かばん

バンビ鞆工房

■水戸店/水戸市笠原町600-25 TEL.029-241-8111
■つくば店/土浦市鉦町2丁目5番17号 TEL.029-841-8800
営業時間/10:00~18:00 定休日/水曜日

カバンの修理も
随時受付中!
見積無料!

★広告掲載(有料)希望される方ご一報ください

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION No. 29

●発行日/平成21年5月1日

●編集/酒井博起 プキャン生枝子 佐藤寿子 手塚正子 荒川真理子 小沼和重 中村潤治 ●デザイン/M-at

●発行人/鈴木善志男

●発行所/〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL.0294-52-3215 FAX.0294-53-9927 茨城キリスト教学園高等学校同窓会

●<http://zion.cool.ne.jp>